



ここから 9月定例会号分 になります。



市川 英敏 議員

農業振興、圃場整備について

質問 農業は阿賀野市の基幹産業であり、基本となる水田農業の大規模化や後継者育成による体質強化は不可欠である。それを実現するためには圃場整備の推進が特に重要で有効かつ具体的な施策であり、農業の持続的発展が可能になる。

新潟県平均56・1%、阿賀野市平均9・5%の整備率となっております。

り、急を要する中で阿賀野市における圃場整備事業がこれほど遅れた要因は何か、これまでの実施状況と今後の計画、必要性について、どのように認識しているか伺う。

答弁 生産性の向上による農業経営の安定化、優良農地の有効利用と維持保全による農業生産の継続のため、圃場整備は大切な手法であり推進しなくてはならない。

高齢者への今後の支援について

質問 今年の冬、阿賀野市の3分の2にあたる地域、戸数にして約9000戸を歩いた時、空き家の多さに驚き、それ以上に高齢者の一人又は二人暮らしの家庭が多く見受けられた。

昨年同様、大雪の中、屋根の雪下ろし、屋敷の除雪など心配しながら後にし、玄関を開けて小さな靴が有るとほっとしたり、様々な

事を考え、いろんな人と出会い、いろんなお話をさせてもらいなから歩かせてもらった。

市長も阿賀野市全域歩かれて、高齢者に対する日々の応援、又緊急時、災害時におけるの対策を伺う。

博物館・美術館建設について

質問 今後の計画に常設展示・管理も含めて「博物館・美術館建設」も視野に早急に検討する必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

答弁 「竹久夢二」「相馬御風」「津八」「折口信夫」などの書画や、社会的・歴史的にも貴重な資料群の贈与を受けたところである。

この二瓶コレクションは、「親子が心血を注いで収集したもので

学校でのいじめ問題について

質問 滋賀県大津市のいじめ自殺問題で、学校・教育委員会の隠蔽体質が問題視されているが、阿賀野市においての「いじめの実態」と「いじめの発見から解決までの一連の組織対応」はどのようになっているのか。教育長に伺う。

答弁 7月までのいじめ総数は小



学校11校で33件、中学校4校で20件だった。悪口や嫌なことを言われた、無視や仲間外れといった心理的なもの、こづや叩くなど身体的なものもあった。

いじめの発見について、小学校では保護者から、中学校では本人からの訴えが最も多く、いじめが認められた場合は、被害者や加害者からよく話を聞き、各校長がリーダーシップを発揮し、養護教諭などを交えた対応チームを組織して対応している。深刻化が予想される場合は、教育委員会がかかわってきた。



岡部 直史 議員

介護保険料の引き下げを

質問 年金額が削減されるのに介護保険料が3割以上引き上げられた。保険料の負担軽減の考え方を伺う。所得による負担区分を細分化して、低所得者層の負担軽減を行っている市もある。

答弁 制度上、給付が増加すれば保険料も上げざるを得ない。給付総額抑制のため、介護予防に力を入れる。保険料の負担区分の細分化は検討する。

就学支援について

質問 特別養護老人ホームの増床で待機者を少なくする公約について伺う。

答弁 現在の介護計画（平成26年まで）の後、27年度以降に検討する。

質問 家庭の経済的な理由で就学が難しい子どもへの支援の充実について伺う。

答弁 『就学援助』の認定基準の見直し、支給内容の充実、奨学金貸し付け制度について、貸し付け金額や返済期間の見直しを図りたい。

障害者グループホーム開設を

質問 近隣自治体で開設されているグループホームを、当市でも早く設置をという要求にこたえ



て、早く開設を。

答弁 安田地区の旧教職員住宅跡地に開設を検討している。入所は8人で、運営する法人を募集している。